



令和8年10月29日

報道機関各位

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

アジアのがん予防の最前線を議論する 国際シンポジウムを開催します

神奈川県立保健福祉大学のイノベーション政策研究センターとヘルスイノベーション研究科は、Asia Cohort Consortiumの協力のもと、12月12日（土）に国際シンポジウム「Cancer Prevention in Asia: Innovations and Opportunities（アジアのがん予防を拓く―革新と新たな可能性）」を開催します。

本シンポジウムでは、日本、韓国、オーストラリアから、がん疫学、栄養疫学、デジタルヘルス、がん登録などを専門とする研究者が登壇します。

スマートフォンやICTを活用した健康・食事情報の収集、食事・遺伝・腸内細菌とがんとの関係、長期追跡研究、ヘルスケアツールの社会実装、がん登録データの活用などをテーマに、7つの講演とパネルディスカッションを通じて、がん予防研究の新たな手法とその実践について議論します。

1 開催日程・会場

令和8年12月12日（土）

神奈川県立保健福祉大学 川崎キャンパス（川崎市川崎区殿町3-25-10 RGBTⅡ-A 2階）

2 開催方式

現地参加のみ

使用言語：英語（日本語通訳・字幕なし）

3 開催概要

時間	内容・テーマ
14:30～14:35	開会挨拶
14:35～14:45	イノベーション政策研究センターの紹介
14:45～16:10	講演1 将来の疫学研究に向けたデジタルヘルス技術 講演2 神奈川県みらい未病コホート研究 講演3 ICTを活用した食事モニタリングと評価
16:25～18:05	講演4 食事要因、遺伝、マイクロバイオームの相互作用 講演5 未病指標の開発 講演6 卵巣がん予防の新たな展望 講演7 神奈川県地域がん登録について
18:05～18:35	パネルディスカッション 「アジアのがん予防におけるデジタルイノベーション」
18:35～18:40	閉会挨拶

19:00～ 同会場にて情報交換会（立食形式）を別途開催します。

本シンポジウムのプログラムは全て英語で行われます。



4 本シンポジウムの見どころ

- 日本、韓国、オーストラリアの専門家が、アジア・太平洋地域のがん予防研究の現在と今後を議論
- スマートフォンや ICT を活用した疫学・食事調査など、デジタル技術による新しい研究手法を紹介
- 食事・遺伝・腸内細菌、長期コホート研究、未病指標、がん登録など、多様なデータをがん予防につなげる研究を幅広く紹介

5 参加料・申込方法

参加料：無料（情報交換会は別途有料）

申込方法：Web にてお申し込みください。

参加申込締切：12 月 4 日（金）まで

（参加申込 URL） <https://forms.cloud.microsoft/r/pKsWnaaUtd>

（Web サイト） <https://hict2027.cip-kuhs.jp/cancersymposium/>



参加申込



Web サイト

6 主催：公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

イノベーション政策研究センター・大学院ヘルスイノベーション研究科

協力：Asia Cohort Consortium

問合せ先

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

イノベーション政策研究センター センター長 成松宏人

ヘルスイノベーションスクール担当部長 和田

電話 044-589-3312 shi-press@kuhs.ac.jp